

授業科目

発達障害理学療法学

担当教員名 正木 光裕	対象学年	3・4	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

障害児の福祉、目と手の発達、認知の発達、摂食の発達、コミュニケーションの発達、発達障害や脳性麻痺等の小児疾患および小児理学療法に関する講義、症例検討を通じた演習を行う。

授業の目的

障害児の福祉、目と手の発達、認知の発達、摂食の発達、コミュニケーションの発達、発達障害や脳性麻痺等の小児疾患および小児理学療法を学習し、実際の臨床場面でリハビリテーションを実施できるようになることを目的とする。

学習目標

障害児の福祉、目と手の発達、認知の発達、摂食の発達、コミュニケーションの発達を学習し、小児理学療法に必要な知識を身につける。また、発達障害や脳性麻痺等の小児疾患や、これらの小児疾患に対する評価と運動療法を学習することで小児理学療法について理解を深める。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	発展途上国における障害児への支援のあり方	講義:ベトナムの福祉	正木 光裕
2	福祉先進国における障害児・者、高齢者への支援体制	講義:スウェーデンの福祉	正木 光裕
3	人間発達学 (1)	講義:目と手の発達、認知の発達	正木 光裕
4	人間発達学 (2)	講義:摂食の発達、コミュニケーションの発達	正木 光裕
5	知的障害、発達障害、発達性協調運動障害と遊び	講義:知的障害、自閉症スペクトラム障害、学習障害、注意欠如・多動性障害、発達性協調運動障害	正木 光裕
6	脳性麻痺の理学療法 (1)	講義、演習:症例検討	正木 光裕
7	脳性麻痺の理学療法 (2)	講義、演習:症例検討	正木 光裕
8	脳性麻痺の理学療法 (3)	講義、演習:症例検討	正木 光裕

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	脳性麻痺の臨床的アプローチ 理学療法・作業療法 評価と治療	上杉雅之、成瀬進 他	医歯薬出版株式会社	2011年	6,800円+税	
参考書						
その他の資料	授業中に配布するプリント					

評価方法

期末試験(筆記)で評価する。なお、筆記(100%)の採点配分とする。

履修上の留意点

- ・理学療法学科3年生前期における中枢神経系理学療法学(小児)の内容を復習しておくことが望ましい。
- ・赤ちゃんや子どものリハビリテーションに少しでも興味、関心がある学生を歓迎する。

オフィスアワー・連絡先

正木光裕: E 212 masaki@nuhw.ac.jp
授業開始時に詳細を連絡する。